

平成 27 年 10 月 22 日 00244 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

## ニュースレター【事務局情報】

### 窓ガラス越しのけいこ風景第16 回目(武道の広場と道場1を事務室窓ガラス越しに)～



東相内剣道少年部と剣心館少年部の二つの剣道少年団が30分の時間差で同じ北見市武道館「道場2」を会場に稽古が行われました。先に稽古を開始した東相内剣道少年部は、後から稽古に入った剣心館少年部の開始の正座黙想の間、行っていた稽古を一旦中断し、全員が竹刀を納め、立位の姿勢で静観していました。窓ガラス越しに見守る

父母会の皆さんは、武道の礼節を尊重する剣道少年団の姿勢に静にうなずいていました。

## 【柔道協会情報】

### 北見市市民体育祭協賛 第49回北見市少年少女柔道大会が開催されました！



10月3日(土) 14:00北見市体育祭協賛第49回北見市少年少女柔道大会が北見市武道館道場1に於いて開催されました。大会には幼児から小学生・中学生まで94選手がエントリーし、男女各階級に分かれて熱戦が繰りひろげられました。また、幼児の部は、男女混合のトーナメント戦となり、女子選手の奮戦ぶりに観客から大きな声援と拍手が送られていました。

### 大東流合気武道が初心者教室を開催しました！



10月11日(日)北見合気武道会の大東流合気武道初心者教室が開催されました。合気武道の初心者教室は、今回初めての企画で、小学生から社会人まで約40名が参加、午前の部は剣と杖術を道場3で行い、午後の部は基本稽古を道場1で行いました。参加した小学生は「合気は難しいけど、技がうまくかかると楽しいです。」と難しい技の基本動作に何度も取り組んでいました。

## 連載「武道宝鑑」第5弾 柔道の本義と修行の目的 講道館師範 嘉納治五郎

それでは以前は柔道という名称は全くなかったかというに必ずしもそうではない。極稀には柔道というたこともある。現に直信流という流儀などは直信流柔道というて居る、併し昔用いた道という字の意味は今日講道館で使っているのと大に違って居るから今日使用して居る柔道という言葉は講道館から始まったのである。柔術を武術の範囲に止めて置けば必ずしも名称を改めなくてもよかったが、身体を鍛えるも物を考えるにも仕事をするにもこの原理を応用するようになって来ると、昔武術に限って用いられた柔術という言葉では都合が悪くなってきた。それで何事にも応用出来る根本道のことを柔道と称え又その根本道を個々の仕事に応用することも柔道というようにしたのである。つづく